



5/13

白鷹山での無事故を祈願 白鷹山夏山開きを開催

「高い山の日」の5月13日、恒例の白鷹山夏山開きが開催され、白鷹山を境とする山形市、上市市、南陽市、山辺町、そして白鷹町の関係者や登山客など多くの方が参加しました。

白鷹山での無事故を祈願した後、夏山開きを宣言。多くの関係者とともに今シーズンの開幕を祝いました。今年は天候にも恵まれ、山頂からは広大な景色が綺麗に眺められるほど絶好のコンディションとなった1日でした。



▲虚空蔵尊前で夏山開きのセレモニーを開催しました

5/25

泥の感触がたまらない！ 荒砥小学校で田植え体験

荒砥小学校5年生の児童たちがこの日、中山地区にある田んぼで田植え体験を行いました。

児童たちは、田んぼに足を入れると思うように動けず、中には足をとられて豪快に転ぶ児童もいました。悪戦苦闘しながらも、ひとつひとつ丁寧に植えていき、作業が終わるころには、全身が泥だらけに。「大変だったけど、やっているうちに楽しくなってきた」と児童たちは語りました。

田植え終了後には、地元の方々が握った棚田米のおにぎりが振る舞われ、子どもたちは一層、秋の収穫を心待ちにしていました。

- ▶ 田植え作業を通じて、地元の方々との仲も深まりました
- ▼ ひとつひとつ丁寧に植える児童



令和8年全国広報コンクール

『広報しらたか』が読売新聞社賞&組み写真部門で入選のダブル受賞！

(公財)日本広報協会主催の令和8年全国広報コンクールにおいて、『広報しらたか』(2025年8月号)が組み写真の部門で入選。さらに、入選作品の中から地域の話やニュース、人物等を積極的に取り上げ、住民の目線を生かした特に優れている作品に贈られる「読売新聞社賞」を初受賞しました。

これもひとえに、町民の皆さまの多大なるご協力があったことです。本当にありがとうございます。

引き続き、魅力ある誌面づくりに努めていきますので、『広報しらたか』をよろしくお願いいたします。



受賞した組み写真(2〜3ページ)



4/28 自然を学び、未来へつなぐ
東根小学校「緑の少年団結団式」

この日、東根小学校4年生から6年生の児童らが緑の少年団結団式を行いました。

式の中では、「山形県緑の少年団活動審査会」において、東根小学校が置賜ブロック代表として優秀賞に選ばれ、表彰式が行われました。その後、代表児童が決意表明を行い、これからの自然体験活動に対する意識を高めると、永野徹林政課長より新団員へ装備品であるスカーフとワッペンが手渡されました。緑の少年団は今後、自然に親しむことを目的に、町内外の自然・森林に触れながら活動を行います。



▲賞状を手にする緑の少年団の皆さん（東根小学校）

4/28 新緑の山形路を駆け抜ける—
第70回山形県縦断駅伝競走大会

第70回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日の3日間で開催され、長井・西置賜チームの選手たちは桃色の襷に思いを込めて走りました。

今大会には、白鷹町から7人の選手が出走。地域の皆さんや荒砥高校の生徒たちが応援に駆けつけ、熱い声援を送りました。長井西置賜チームは総合7位となりました。

——《出走・エントリーされた白鷹出身・在住者》——

- ・堀内郁哉選手（荒砥）
- ・菅陽翔選手（鮎貝）
- ・竹田圭吾選手（荒砥）
- ・石田善一選手（十王）
- ・高橋蒼翔選手（荒砥）
- ・後藤光雅選手（荒砥）
- ・黒澤叶選手（鮎貝）
- ・安部結心選手（荒砥）
- ・平碧羽選手（十王）
- ・関心和選手（鮎貝）



▲白鷹中継所を4位で通過した長井・西置賜チーム

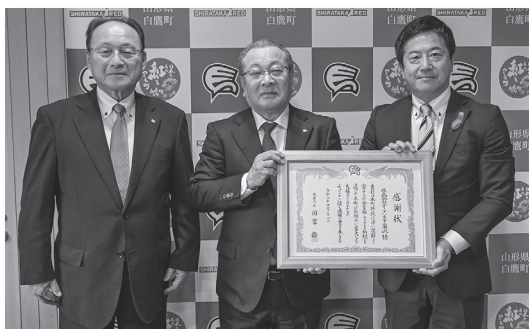
町への寄附に感謝

企業版ふるさと納税寄附企業に感謝状贈呈

このたび、株式会社データシステム米沢（高橋孝二取締役会長）とing-Bwell株式会社（新野基代表取締役社長）より企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただき、田宮町長から感謝状を贈呈しました。

本町への多大なるご支援に深く感謝申し上げます。

株式会社データシステム米沢
高橋取締役会長（中央）
太田代表取締役社長（左）



ing-Bwell株式会社
新野代表取締役社長（鮎貝出身）

